

しらおか男女共生広報紙

ハーブティ

2000. 5

第 4 号



Janet

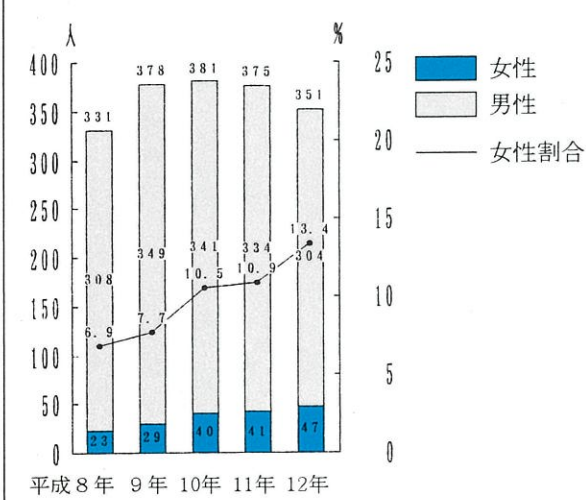
近年、女性の地位向上を支援する法律や制度は整備され、埼玉県でも今年4月には全国に先がけて「男女共同参画推進条例」が制定され、女性の社会進出が一層活発になってきました。しかし、依然として意識の中には、男女の能力や役割に対する固定的な考えが残っているのも事実です。今回は白岡町のさまざまな分野における男女共生を探ってみました。

町行政にもっと女性の声を届けたいね!

町には体育指導委員や公民館運営審議会など審議会と呼ばれる組織がいくつかあります。なかでも住民参加の審議会は意見を聴きながら事業を進めることができるため、重要な位置を占めています。

では、これらの審議会等に女性は何のくらいかわっているのでしょうか。町では平成15年度までに女性委員の数を全体の30%に引き上げることを目標に、平成10年度から取り組みが行われてきました。結果、徐々に増加の傾向にあります。まだまだ努力の必要があります。(グラフ参照)
また、政治の分野では町議会議員26人中、女性は1人です。これからはもっと多くの女性議員が登場し、女性の視点からも住みよいまちづくりを考えていく必要があるのではないでしょうか。

町審議会等における女性委員数と割合(各年4月1日現在)



お知らせ

町では審議会等に女性委員を登用するため、「女性人材リスト」への登録者を募集しています。
対象・地域でリーダーとして活躍している方
・あらゆる分野での有識者・有資格者
(自薦・他薦は問いません)
詳細は白岡町政策課へ



女性の意欲・能力を开花させて!

男女雇用機会均等法の改正後、男女共に職種が拡大され、女性の勤務年数も伸び、さらに起業家や専門職なども徐々に増えつつあります。町内でも女性のエンジニアや若い起業家たちが誕生し、意欲的に活躍しています。これからの時代、女性の労働力が今以上に期待されます。



就労意欲に燃える受講生たち
-パソコン講座(商工課)から-

しらおか
輝く21

新たなコミュニティ ひとひと 女と男

白岡町では、ボランティア・PTAなどの地域活動の実質的な運営に多くの女性が活動しています。しかし、行政区長はすべて男性、その他組織の長もほとんどが男性です。今後は男女とも慣習にとらわれずに社会的視野を広げ、支えあう地域づくりが必要です。

家庭をとりまく環境にも少しずつ変化がみられますが、実際には性別役割分担の家庭が多く、女性に負担がかかっています。少子・高齢化、核家族化が進む中、これからは夫や子どもの家事協力がますます必要となり、そのために基本的な知識・技術を身につけることが望まれます。

(7)

我が家の男女共同参画



しらおか男女共同参画推進会議
会長 持田 静江さん

私たち夫婦は数年前に夫が退職し、現在2人だけの生活です。夫は3年前に「彩の国 生きがい大学」に入学し、今春卒業しました。受講したことで家庭参画にも目を向けるようになり、お互いの行動の自由を尊重しあい、食事の用意なども気遣わずに出かけられます。泊まりの研修などに参加できるのも、夫の理解と協力があればこそと感謝しています。



わたし、
輝いています!

女性エンジニア
倉持由紀子さん

子どもの頃から男女の意識をあまり持たずに育ったということです。26歳の時に自分の得意分野を活かすため、まだ男性が圧倒的に多い1級土木施工管理技士の資格を取得。女性だからということで、採用を断られたこともあったといいます。現在、建設現場を指揮監督する立場から、これからも納得のいく仕事がしたいと語っていました。

ひとひと
女と男
世紀へ!

(2)

保健センターでは、母親学級(4回のうち1回は両親学級)や出産後の同窓会を開き、母親の孤立感や育児不安を軽減し、両親が子育ての喜びを感じられるよう支援しています。



-両親学級(保健センター)から-

昨年、男女雇用機会均等法が改正され、女性に優遇的措置がとられました。しかし、せっかくこのような機会が与えられたにもかかわらず、活用しなければ「所詮女性は…」などといわれてしまいます。また、そのような状況に甘んじていると女性の質も問われてきます。いずれにしても、今後も女性はよりがんばらなくてはならないですね。



白岡町男女共生セミナー

「女と男 ともに生きる未来を」

平成12年2月5日・19日 3月4日
白岡町中央公民館 講堂

教育委員会が、身の回りにおける女性(男性)問題について自分自身を見つめ直したり、女と男の関係を直したりする機会づくりとしてセミナーを開催しました。全3回の平均参加者は62名と町民の関心も高く、毎回講演終了後には講師との活発な質疑も交わされました。

また、「家事をすることには抵抗がなく、洗濯干しなどをすると妻が世間体を気にする」という中年の男性の発言には、会場からいっせいに応援の拍手がわいていました。(なお、今回の託児利用者は11名でした。)

わたしたちが企画しました!



*実行委員のみなさん(左から)
神田文子さん 吉野しいさん 伊東修子さん

- 第1回「自分らしく生きる」 金子 朝子氏
- 第2回「私にできる社会参加」 松田 敏子氏
- 第3回「男だって子育て」 広岡 守穂氏

たのしかったよ! こどもクッキング

~小さいうちから家庭参画~

友達はたくさん できたよ!

ボク、おかあさんのために お父さんといっしょにカレーを作ってあげたいあるんだ。

最初は包丁も 使ったことがなかったけど、今は上手に切れるよ。



-コミュニティセンターにて-

男女が共に等しく社会参加できるように、国はいろいろな改革を打ち出し、社会全体が大きく変わりました。しかし、どのような政策を計画しても、最終的に行動するのは、個人一人ひとりです。そのためにはその人自身が、自分らしさを失わず、相手を理解し、協力しあう必要があります。心の豊かさを求めて21世紀を歩いていきたいと思いますか。

彩の国 国際フォーラム2000 ～男女共同参画社会をめざして～

2月19日(土)・20日(日) / 大宮ソニックシティ

例年行われるこのフォーラムに今年も大勢の参加があり、大盛況でした。1日目はアンジェラ・キング氏による「女性2000年会議と国連の取り組みについて」の報告がありました。2日目は知事と女優の三田佳子氏との対

談や多彩なパネリストによる「男女共同参画社会をめぐる現状」についてのディスカッションが行われました。パネルディスカッションのなかでベンツ・リンドブラッド氏の「デンマークが福祉国家といわれるようになった要因の一つに女性議員の増大があった」という言葉が印象に残りました。2日にわたるワークショップでは初日に白岡町からの参加団体があり、リサイクル活動について紹介していました。

編集を終えて

早いもので、現メンバーでの編集もこれが最後となります。模索しながら、いろいろな角度から取り組んできた「男女共生」。共に生きるとは・・・ 私たちも一人ひとり考えてみました。

*あまり声高に「男女共生」を叫びたくない。人にやさしさと尊敬があれば、だれかのためになにか手伝いたいと思ったり、自分のことを自分でしたり、他の人をそのまま認めることができるはず。それが自然なことだと思っているから。(浅野)

*自分の人生を“家族のためだけに生きてきた”などと言われると寂しい。家族と同じくらい、自分自身も大事にしたい— そうすれば、人にやさしく、ともに手を取りあえるような気がする・・・。(井上)

*小さな社会、家庭で取り組む我が家。できる人ができることをする。お互いに相手を思いやる心を忘れずに。それが地域、職場、学校へとつながれば、男も女も共に尊重しあえる社会になるよね。(小野)



*いろいろな人生、生き方があるが、それぞれが特性を活かし、お互いを活かしていけたら、今まで見えなかったことが新しい目で見えてくるかもしれない。それが自然に！普通に！なったら“共生”そのものだと思う。時間はかかるかもしれないがそうならないと。(金子)

*黒一点としてスタッフに参画してみて、ウーマンズパワーが年齢を問わず、無限の可能性と実現する世紀を感じさせられました。そう、男性へも一言!!「男女共同参画」活動にぜひ、触れてください。(中根)

*性別・年齢や慣習などにとらわれなくて、お互いの考えを認めあって、家庭及び地域のひとりとして一緒に協力しあい支えあう社会。これを子どもたちに伝えていきたいなあ。(渡辺)

— 2年間のおつきあいありがとうございました。次号(11月)から新メンバーでスタートします。これからも『ハーブティ』をどうぞよろしく!— 編集委員一同

👉「広報しらおか」5月号で編集委員を募集していますのでご覧ください。

ハーブクッキング

🍅 トマトのバジルサラダ

<材料 / 4～5人分>

トマト・・・中3～4個

玉ねぎ・・・中1/2個

バジル・・・生葉10～20枚

(ドレッシングの材料)

サラダ油・・・大さじ3

ワインビネガー・・・大さじ1

塩・・・少々 あらびき黒こしょう・・・少々

粒マスタード・・・少々



<作り方>

- ① トマト横5mm幅に切り、皿に並べる。
- ② 玉ねぎとバジルはみじん切りにする。
- ③ ドレッシングの材料を合わせてから②を入れ、よく混ぜる。
- ④ ①の上にかけて冷蔵庫で冷やしてでき上がり。

トマトとバジルの香りで初夏の味をお試しください。



バジルの葉っぱがあまったら、
オリーブ油につけて香り高い
オイルの完成!

～編集後記～

男女共生を「強制」せずに、いままでの慣習の不具合を「矯正」し、家庭・地域・社会がバランスよく「共生」したとき、私は喜びの「叫声」を上げたい。(井上)

いろいろな職種の人のお話を伺って、驚いたり感心したり、また違った世代の人と会って良い刺激を受けました。今夜はゆっくり夫と二人でハーブティを飲みましょう。(渡辺)

編集委員

浅野 悦子

井上 由香

小野由馨枝

金子美津江

中根 正義

渡辺 幸代



表紙 阿部 純子さん(元白岡町在住)

発行
編集

白岡町政策課 TEL 0480(92)1111 内線 373
FAX 0480(92)9096

しらおか男女共生広報紙編集委員会

ご意見、ご感想をお待ちしています。



地球環境保護のため再生紙を使用しています。